

見なおそう!

みんなの健康

日本赤十字社和歌山医療センター
http://www.2.kankyo.ne.jp/nisseki-w/

No.15

主な症状は「息切れ」、長引く「咳」や「痰」



呼吸器内科部副部長
寺下 聡 (てらした さとし)

また、しつこく続く咳や痰(たん)も主な症状です。

世界的にも患者数が増加しており、わが国のCOPDによる死亡者数は、平成26年は約1万6000人、死因順位の第10位(男性では第8位)と高くなっています。

わが国のCOPDの推計患者数は53が多数いらっしゃる

ます。

この病気は長年の喫煙歴を経て発症するため、喫煙開始年齢が若年化しているわが国では、今後さらなる増加が危惧されています。近年では、女性の喫煙者も増えている上、発症リスクは女性の方が高いことが報告されています。和歌山県は、平成26年度の人口動態統計でCOPDの死亡率が全国ワースト4位となっており、治療や禁煙啓発などの対策が急務です。

「という器械を使った呼吸機能検査(スパイロ検査)によって行います。この検査は、最大限に息を吸えるだけ吸い、それを思い切り強く吐き出した「努力肺活量」と、最初の1秒間に吐き出せる「1秒量」を測定します。そして、「1秒量」を「努力肺活量」で割った割合が70%未満の場合にCOPDの可能性がありま

す。検査の時間は数分程度で、健康保険が適応されます。現時点では、COPDを根本的に治す、元の健康的な肺気質の進行を止めることはできません。たばこに対する依存性の強い人は、専門医の指導のもとで禁煙する方法もあります。一定の条件を満たせば、禁煙治療も健康保険が適用されます。薬物療法は、気管支を広げて呼吸を楽にする気管支拡張薬の吸入が治療の中心となります。また、COPDにかかっている方は感染症が重症化しやすいので、肺炎球菌ワクチンやインフルエンザワクチンなどの予防接種も重要です。早期発見・治療が重要です。喫煙歴のある40歳以上の方は、近くの医療機関で、ぜひ一度、スパイロ検査を受けてください。

は、スパイロメータは、スパイロメータは、スパイロメータ

は、スパイロメータは、スパイロメータ

これらの記事等は新聞社の承諾を得て掲載してまいります。